



小中一貫教育だより
学校教育課・教育センター版
令和3年5月31日 No.24
(小中一貫教育推進だよりから 通算No.95)
十日町市教育委員会学校教育課



あいさつ運動(拡大中学校区:飛渡第一小学校) ※P5で説明

巻頭言 『「こども庁」構想』

子育て教育部長 渡辺 正彦

「子どもは国の宝。子どもたちの政策を何としても進めることが政治の役割だ。」4月初旬、参院予算委員会で「こども庁」創設に意欲を示した菅首相の言葉である。子どもに関する施策は、保育や教育、少子化対策、虐待防止など多岐にわたり、厚労省・文科省・内閣府、ひいては法務省、警察庁などにまたがる施策もあり、「縦割りの弊害」が指摘されてきた。

当市では、平成28年度に子育て教育部を立ち上げ、出産後から義務教育卒業までを一つの部局の業務とし、この「縦割りの弊害」打破に取り組んできた。「国もやっと重い腰を上げたか。」という感がある。この提言を取りまとめた国会議員の一人は、「こども庁」の使命を2点掲げている。①子どもたちの命と尊厳を守ること。②予算をきちんと取ること(子ども関係予算 日本:GDP比1.7% 欧米:GDP比3.0%)。この使命を実現するためには、「女性活躍」「地方創生」「1億総活躍」といった創設時の目玉政策の名を冠した省庁とは異なり、関連省庁を統合するくらいの意気込みがほしいものである。

子育て教育部長に就任して1カ月が経過した(寄稿時)。就任直後から様々な課題に取り組んでいるが、平成28年度創設の当部局でも、やはり「縦割り」を感じることもある。「子どもたちのために」という総論には誰もが賛成する。「では、どうするのか?」の各論を展開できてこそ「縦割りの打破」である。想いは一緒。行動も一緒に歩んでまいりましょう。

—一年間、よろしくお願ひいたします—

小中一貫教育

■ 共通取組事項「自己有用感を高める取組」継続!!

十日町市の小中一貫教育では、「学力向上」「不登校の減少」「特別支援教育の充実」という3つの目標に向かい、「自己有用感を高める取組」を共通取組事項として推進してきました。

そして、今年度から十日町市の学校教育の重点に「自己有用感を育む」ことを明示し、今後5年間、以下の点について留意しながら共通取組事項「自己有用感を高める取組」を継続することしました。

授業改善の視点	PDCA サイクルの視点	教師の指導力	関係者との連携
「主体的・対話的で深い学び」と関連付けた取組	「居場所づくり」「絆づくり」を大切にした教育活動と事前・事後・振り返りの場の重視	自己有用感を育む教職員の実践力を高める	家庭、地域と連携した取組の推進

この4点については、これまでも各中学校校区で取り組まれてきたことです。これに関わる取組を増やしてほしいということではありません。これまでの取組状況を見直しつづつ質を高めてほしいということです。小中一貫教育計画訪問でもこのことについて、お願いしてきました。ある中学校校区では、これまでの取組事項が網羅的であるとの反省から、自分たちの中学校校区で取組事項を絞り込み、取組を徹底していくというように計画を改善していました。各中学校校区の実態に合い、取組の成果が一層上がるように取組の質を上げていってほしいと思います。

教育相談班より

■ 市学校教育の重点「共通課題：特別支援教育の充実」に向けて

～第1回特別支援教育研修講座を行いました～

4月28日(水)には、千手中央コミュニティセンターを会場に、「第1回特別支援教育研修講座」を開催しました。各校の特別支援教育コーディネーターに参加してもらい、特別支援教育実践にかかる就学支援や通級指導教室等の重要な手続きの説明を行いました。



今年度は、特別支援教育にかかわる研修会(校内外問わず)に年間1回以上参加した教員100%を目指し、研修の充実を図っていきます。具体的には、初級・中級・上級に分かれての講座を開設し、特別支援学級担当者のみならず、通常学級担任や管理職からの参加も促します。

※ 第1回講座にて「研修講座パンフレット(チラシ)」を配付しました。詳細を知りたい方は、自校の特別支援教育コーディネーターにお聞きください。

■市学校教育の重点「共通課題：不登校・いじめの減少」に向けて

～「不登校対策研修会」を実施します～

市では、中学校でこれまで不登校生徒数が3年連続減少していましたが、昨年度増加に転じました。また、小学校では4年連続増加しており、不登校の現状は予断を許さない状況にあります。

そこで、新たな不登校を生まない学校づくりを推進し、学校の組織力の向上や教職員の指導力の向上を図るため、中越教育事務所 指導主事 長谷川成生 様を講師にお迎えし、年間2回の研修会を開催します。



第1回不登校対策研修会 6月14日(月) 14:30～ 会場:千手中央コミュニティセンター

第2回不登校対策研修会 11月25日(木) 14:30～ 会場:千手中央コミュニティセンター

～「いじめ防止対策研修会」を実施します～

いじめや不登校、暴力行為等、様々な生徒指導上の課題は、年々複雑化・多様化の傾向にあります。特に「いじめ」は、国・県にとどまらず本市でも喫緊の課題です。また、令和2年12月に「新潟県いじめ等の対策に関する条例」が制定され、新たに「いじめ類似行為」などが加えられました。

そこで、いじめ事案への学校の対応力や教員の指導力の向上を図るため、中越教育事務所 指導主事 佐藤典人 様を講師にお迎えし、年間2回の研修会を開催します。

第1回いじめ防止対策研修会 5月20日(木) 14:30～ ※ 終了しました。

第2回いじめ防止対策研修会 11月17日(水) 14:30～ 会場:千手中央コミュニティセンター

学習指導班より

■学力を向上させるには？ 第1回学力向上推進会議(5/13)より

昨年度から引き続くコロナ禍の中で、子どもたちのために日々工夫を凝らして授業を進めていただいていることに感謝申し上げます。

5月13日(木)に、今年度最初の「学力向上推進会議」を行いました。

学力向上は、市の小中一貫教育における3つの共通課題のうちの一つです。今年度、市「学校教育の重点」がリニューアルされ、自己有用感についても引き続き取り組んでいただきます。学校現場の皆さんは、「学力も自己有用感も上げろと言うのか!」と感じられるかもしれません。そこで、少し整理させていただきます。

私たち教員が最も力を注ぐべきことは、あくまでも「日々の授業」です。「自己有用感の向上」は、授業改善の視点の一つとしてとらえていただくとよいかと考えます。すべての子どもたちに学力を身に付けさせることは、教員の使命です。授業改善に取り組むことで、子どもたちが「分かる」「できる」を実感し、自己有用感とともに学力が向上していくことを目指すのです。

「家庭学習の取組がよくないから、学力が上がらない」というお話を聞くことがあります。確かに、家庭学習の習慣定着の不十分さは、学力



が上がらない要因の一つかもしれません。しかし、「家庭学習によって学力向上を目指す」のは、筋が違うように思います。「分かる・できる→楽しい！」授業により、「このことについて、もっと家で調べてみたい。もっと練習して、確実に覚えたい。できるようになりたい。」と子どもたちが心から思えば、家庭学習の取組は改善されていくのではないのでしょうか。「先生がやれと言うのでやる」家庭学習ではなく、「自分がやりたいからやる」家庭学習へ、そして、それにつながる授業を目指していきましょう。

市の学力状況について、令和元・2年度の各種学力調査の結果を基に説明させていただきました。市全体の傾向として、NRT 学力検査では、昨年度同様、特に小学校低学年、小学4年、中学1年の学習内容の定着が課題です。今年度の結果が届き次第、自校の状況を丁寧に分析していただき、自校の課題に即した方策を講じていただくよう、お願いします。

学力向上に、「近道」や「即効薬・特効薬」はありません。日々、子どもを目の前にしておられる先生方の取組以外に学力の定着・向上の道はない、ということです。日々の一つ一つの授業改善について、引き続き取組の推進をお願いします。

キャリアアップ研修「サポート訪問」が始まります！

5月26日（水）に開講式を行い、今年度の「サポート訪問研修」がスタートします。今年度も、教職2年目の先生方を中心に、24名の先生方から申込をいただきました。

サポート訪問の目的や研修内容はセンター要覧のとおりですが、当センターとしては「経験の浅い先生方の指導力向上を支援し、不安や負担を軽減し、応援する」ことが最大の目的です。先生方お一人お一人の指導力の向上により、子どもたちの学力向上につなげていきたいと考えます。

子どもたちのために、ともに頑張りましょう！



【表紙写真の説明】

飛渡第一小学校児童6名を、卒業生である中条中学校の生徒が、小学校の入り口で出迎えています。早く学校に着いた児童もかばんを教室においてあいさつ運動の仲間入りです。その後、生徒の進行で振り返りを行いました。児童の言葉の中で、久しぶりに中学生に会えてうれしかったという言葉もあり、温かい心のつながりを感じました。

拡大中学校区では、中学生の成長した姿を児童に見せて、児童に憧れの意識をもたせ、中学校生活への期待と安心感を育むことをねらいの一つとしています。今回のあいさつ運動もその一環で、春のあいさつ運動は小学校卒業以来成長した中学2・3年生が参加し、秋には卒業から半年たった中学1年生が参加して、小学校の児童に成長した姿を見せることになっています。

学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～6・7月～

日 時	内 容 ・ 会 場	備 考
6月 7日(月) ～18日(金)	第1回 WEBQU 【各学校】	対象:小学校4年生、中学校1年生の児童生徒
6月 9日(水)	学級経営研修会 【千手コミセン】	講師:長岡市立上川西小学校 教頭 島山明大 様
6月10日(木)	第2回小中一貫教育コーディネーター研修 【千手コミセン】	対象:小中一貫教育統括・校内コーディネーター
6月11日(金)	特別支援教育研修講座 ～中級講座①～ 「知的障害・発達障害の理解と指導」 【千手コミセン】	講師:ふれあいの丘支援学校 教頭 秦野真一 様 対象:特別支援教育コーディネーター 特別支援学級担任
6月14日(月)	不登校対策研修会① 【千手コミセン】	講師:中越教育事務所 指導主事 長谷川成生 様 対象:不登校担当職員 他
6月28日(月)	特別支援教育研修講座 ～上級講座①～ 「授業改善Ⅰ」 【ふれあいの丘支援学校】	講師:上越教育大学大学院 教授 村中智彦 様 対象:研修会講師経験者 特別支援学校職員 他 それに準ずる方
7月 8日(木)	エキスパート教員研修① 【川治小学校】	講師:川治小学校 教諭 五十嵐 啓滋 様
7月26日(月)	教育支援員研修会② 【千手コミセン】	講師:ふれあいの丘支援学校 校長 小網輝夫 様 対象:教育支援員
7月29日(木)	図書委員会サミット 【情報館】	